

# 令和5年長野市消防局における救急出動の状況(確定値)について

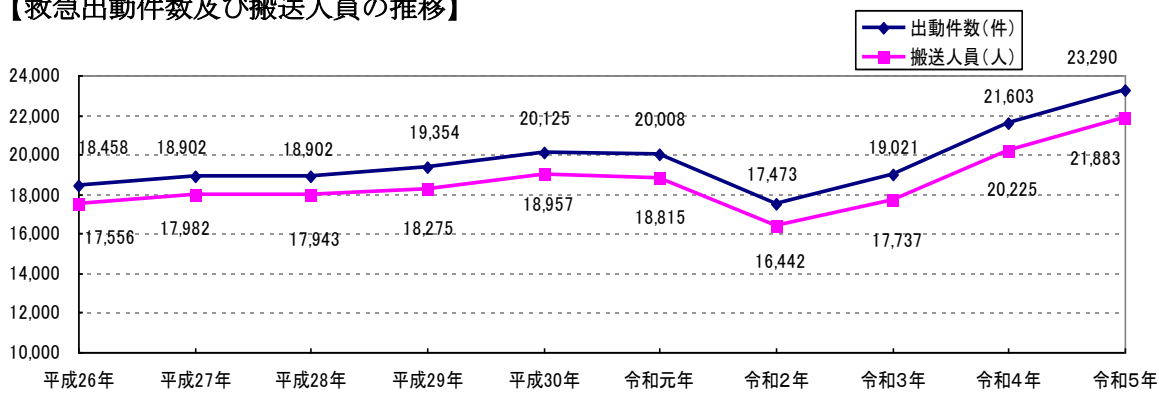


## 1 救急出動件数・搬送人員について

消防局管内(長野市及び周辺3町村)の救急出動件数は、23,290件であり、前年(令和4年)の21,603件と比較して1,687件、約7.8%増加しました。また、搬送人員も、21,883人で前年の20,225人と比較し1,658人、約8.2%増加しました。これは、昭和39年の救急業務開始以来、ともに過去最高を記録しました。

この状況を平均換算すると、救急自動車は約22.6分に1回の割合で出動して、管内住民の約18人に1人の方が搬送されたこととなります。

### 【救急出動件数及び搬送人員の推移】



## 2 事故種別出動件数について

救急出動件数を事故種別で見ると、急病が15,974件で前年に比べ1,370件の増加で、全体の68.6%を占めております。続いて一般負傷が3,575件で282件の増加で15.3%、転院搬送が1,818件で57件の増加で7.8%、交通事故が981件で9件の減少で4.2%となっています。

### 【事故種別出動件数及び搬送人員内訳】

事故種別	事故種別出動件数					事故種別搬送人員				
	令和5年		令和4年		前年比 増減	令和5年		令和4年		前年比 増減
	出動件数	構成比	出動件数	構成比		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	
急病	15,974	68.6%	14,604	67.6%	+1,370	15,233	69.6%	13,930	68.9%	+1,303
交通事故	981	4.2%	990	4.6%	-9	934	4.3%	945	4.7%	-11
一般負傷	3,575	15.3%	3,293	15.2%	+282	3,449	15.8%	3,171	15.7%	+278
加害	53	0.2%	59	0.2%	-6	42	0.2%	52	0.3%	-10
自損行為	159	0.7%	156	0.7%	+3	117	0.5%	118	0.6%	-1
労働災害	165	0.7%	162	0.7%	+3	161	0.7%	161	0.8%	0
運動競技	118	0.5%	80	0.4%	+38	117	0.5%	79	0.4%	38
火災	96	0.4%	92	0.4%	+4	19	0.1%	19	0.1%	0
水難	5	0.0%	7	0.1%	-2	2	0.0%	3	0.1%	-1
自然災害	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	0
転院搬送	1,818	7.8%	1,761	8.2%	+57	1,809	8.3%	1,747	8.6%	+62
その他	346	1.5%	399	1.9%	-53	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	23,290	100.0%	21,603	100.0%	+1,687	21,883	100.0%	20,225	100.0%	+1,658

※端数処理(四捨五入)のため割合の合計は100%にならない場合があります。

### 3 年齢区分別搬送人員について

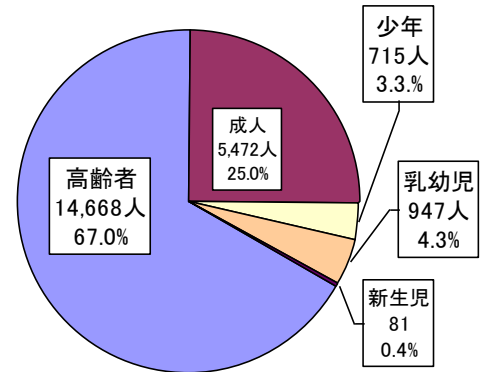
年齢別の搬送人員は、高齢者が14,668人で全体の67.0%、続いて成人が5,472人で25.0%、少年が715人で3.3%、乳幼児が947人で4.3%、新生児が81人で0.4%となっています。

搬送人員数及び搬送割合はともに高齢者が最も多くなっています。

【年齢区分別搬送人員内訳】

【令和5年 年齢区分別搬送人員】

年齢区分	令和5年		令和4年		前年比 増減
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	
高齢者	14,668	67.0%	13,833	68.4%	+835
成人	5,472	25.0%	5,071	25.1%	+401
少年	715	3.3%	577	2.9%	+138
乳幼児	947	4.3%	680	3.4%	+267
新生児	81	0.4%	64	0.3%	+17
合計	21,883	100.0%	20,225	100.0%	+1,658



※端数処理（四捨五入）のため割合の合計は100%にならない場合があります。

・高齢者：65歳以上 ・成人：18歳以上65歳未満 ・少年：7歳以上18歳未満 ・乳幼児：生後28日以上7歳未満 ・新生児：生後28日未満

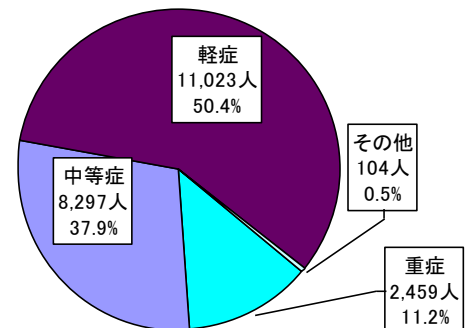
### 4 傷病程度別搬送人員について

傷病程度別では軽症が11,023人で全体の50.4%、続いて中等症が8,297人で37.9%、重症が2,459人で11.2%、その他が104人で0.5%となっています。

【傷病程度別搬送人員内訳】

【令和5年 傷病程度別搬送人員】

傷病程度	令和5年		令和4年		前年比 増減
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	
重症	2,459	11.2%	2,191	10.8%	+267
中等症	8,297	37.9%	8,328	41.2%	-31
軽症	11,023	50.4%	9,601	47.5%	+1,422
その他	104	0.5%	105	0.5%	+0
合計	21,883	100.0%	20,225	100.0%	+1,658



※端数処理（四捨五入）のため割合の合計は100%にならない場合があります。

・重症：3週間以上の入院加療を必要とするもの ・中等症：重症又は軽症以外のもの ・軽症：入院加療を必要としないもの  
 ・その他：初診時に死亡が確認されたもの、医師の診断がないもの、医療機関以外へ搬送したもの

### 5 救急需要増大への取り組み

国の推計では高齢化の進展等により、救急需要は今後しばらく増加する可能性が高いことが示されています。消防局では、不要不急の救急を抑制する目的で開設された「長野県救急安心サービス#7119」の利用を促進し、救急車の適正利用について市民の皆様にご協力をいただきながら、増加を続ける救急需要への対応に取り組んでまいります。さらに救急救命士の養成、医師同乗出動及び救急隊員の研修体制を含めた救急ワークステーション事業の効果的な運用等を図りながら、病院前救護体制の充実強化に努めてまいります。

